



新型コロナウイルス感染症対策を行いながらサービスを提供しております。その為、引き続き利用者の皆さまにも、ご利用頂けるサービスの制限や感染症対策にご協力をお願いしております。ご不便をお掛けしますが、ご理解のほどよろしくお願いします。

新刊案内

◇一般書◇『あめつちのうた』

朝倉 宏景 著／講談社

甲子園球場を整備する「阪神園芸」。彼らは、グラウンドを守り続けている“縁の下の力持ち”だ！そこで、働きはじめた雨宮大地は、持ち前のセンスのなさから失敗の連続だった。このままで、一人前になれるのだろうか？大地は悩みながら仕事と向き合い、周囲と関わり成長していく…。

◇児童書◇『うどん できた！』

加藤 休ミ さく／福音館書店

うどんを作ろう！小麦粉と塩水をまぜまぜこねこねして、うどんだんごを作る。それから、大きなビニールのふくろに入れて、足で踏むとおいしいうどんになるんだよ。

小麦粉が変身していく様子がリアルに描かれた、作って食べたくなる絵本。

『医者と病院をうまく使い倒す34の心得』

山本 健人 著／KADOKAWA

『あしたの華姫』

畠中 恵 著／KADOKAWA

『遺品博物館』

太田 忠司 著／東京創元社

『どこからきたの？おべんとう』

鈴木 まもる 作・絵／金の星社

『セイギのミカタ』

佐藤 まどか 作・イシヤマ アズサ 絵／フレーベル館

『うれしいぼんおどり』

すとう あさえ ぶん・種村 有希子 え／ほるぷ出版

【展示コーナー】

◇一般テーマ『本で楽しむ夏、しませんか？』

夏はどこかに行きたくなりますが…、今年はインドアライフも楽しんでみては？麦茶でも飲みながら、読書にふけるのはいかがでしょう？

◇児童テーマ『夏が来た！』

あついあつい夏がやってきました。絵本の中のいろいろな夏をお家で楽しんでみませんか？

◇特別テーマ展示『認知症について知ろう』8月18日（火）～9月17日（木）

9月は「アルツハイマー月間」です。

認知症は、特別なことではありません。厚生労働省の推計で「2025年には65歳以上の5人に1人が認知症を患う」と発表されています。これは、年齢を重ねれば誰もが患う可能性があるとても身近な病気と言えます。そこでアルツハイマーをはじめとする認知症を知るために役立つ本を集めて展示します。あわせて、安八町地域包括支援センターと連携し、認知症に関する色々なパンフレットをご用意します。ぜひ、この機会に認知症について知り、考えてみませんか？



「すくすく広場」 対象：未就園児とその保護者

◆リズムで遊ぼう！

講師の先生と一緒にリズム遊びを楽しみます。

日 時：8月18日（火）10：30～11：00

「子ども講座」 対象：小学生以上

◆キッズチャレンジ「竹馬検定」

日 時：8月8日（土）・22日（土）13：30～14：30